

特集

特急「うずしお」運行開始35周年! 社員が紹介!JR四国のお仕事 第4回 沿線通学生寄稿コーナー My Station

JR NEWS

JR四国

2023年 10月号
No.432



ズームアップ 鉄道沿線の風景

～走る空色、キハ47～



鳴門線 撫養駅～金比羅前駅間

青い空と白い雲のもと、鳴門線を空と同じようなカラーリングの列車がやってきました。車両はキハ47という形式で、国鉄時代から活躍し、同じような形態で車両の両側に運転台があるキハ40とともに、鉄道ファンの人気を誇ります。鳴門線のほか、高德線、徳島線、牟岐線の普通列車の一部で活躍しています。

写真の車両はJR四国のコーポレートカラーの水色を使った塗装ですが、登場時の朱色一色を再現した車両もあります。

車内は4人向かい合わせのボックスシートが主体で、多くのお客さまに着席していただくことができます。窓は下の方が開閉可能。走りゆく土地の風を感じながら、親しい人たちと、のんびり、楽しい旅に出てはいかがですか。

JR四国ソーシャルメディア公式アカウント

ソーシャルメディア



おトクなきっぷや、主な駅の情報など

JR四国ツアー
WARP NAVI

JR四国ツアー 検索



JR四国列車運行情報

<https://www.jr-shikoku.co.jp/info/select/index.html>

列車の発着時刻、運賃・料金、鉄道企画商品に関するお問い合わせ
JR四国電話案内センター ☎0570-00-4592
受付時間(年中無休) 8:00～19:00
通話料がかかります。
(お客様がお使いの電話回線の種類によってはご利用いただけない場合があります。)

e5489
JR西日本ネット予約

インターネットで対象エリア内の新幹線・特急列車などの指定席が予約できるサービスです。詳しくは e5489 検索

インフォメーション

めりけんや新店舗「めりけんや円座店」がオープンしました!



JR四国グループの株式会社めりけんやでは、2023年9月7日(木)に香川県高松市の円座町に新店舗「めりけんや円座店」をオープンしました!

めりけんやの店舗で香川県内としては5店目、高松市内では4店目の出店となります。

県道12号線に接しており、お車等でご来店頂くのに便利な立地ですので、この機会に是非ご利用下さい!

- 香川県高松市円座町永井999-1
- 営業時間:(平日)9:00～15:00、(土日祝)7:00～15:00 (無休)

担当者より

新店舗 めりけんや円座店 副店長の香川です。円座店でお客様へ最高のサービスを届けられるように、一緒に働く従業員の方々と明るく、楽しく頑張ります。



特急「うずしお」運行開始35周年!

岡山駅・高松駅～徳島駅間を結ぶ特急「うずしお」が、2023年に運行開始35周年を迎えました。多くのお客様にご利用いただいている特急「うずしお」の沿革や歴史について、ご紹介いたします。

特急「うずしお」の沿革

特急「うずしお」は、瀬戸大橋線が1988年(昭和63年)に開業した際に、JR四国管内の特急列車として、それまで高松駅～徳島駅間で運転していた急行「阿波」を特急に格上げする形で誕生しました。一部の列車については、誕生と同時に岡山まで乗り入れを開始しました。

現在は、高松～徳島間を1日14.5往復、岡山～徳島間を2往復の計16.5往復(下り17本・上り16本)運転しています。

これは気動車(ディーゼルカー)で運転される特急列車としては全国トップの高頻度運転で、地元のお客様の日常の足として、出張や観光で訪れるお客様のタイムリーな移動手段として、きめ細やかな輸送サービスの提供を行っています。



神前駅～讃岐津田駅間を走る2700系特急「うずしお」

特急「うずしお」の歴史

元々、「うずしお」の列車名称は、1961年(昭和36年)から山陽新幹線が岡山駅まで延伸された1972年(昭和47年)までの間、大阪駅から宇野駅を結び、宇高連絡船に接続する特急列車の名称として使われていました。本州側を走る特急として誕生した先代から四国を代表する特急のひとつとなった現在に至るまで、特急「うずしお」は「本四連絡」特急の一翼を担う存在の列車として活躍しています。

今年4月には、同時に35周年を迎えた「瀬戸大橋線」の記念列車として、1988年(昭和63年)の瀬戸大橋線開業・特急「うずしお」運行開始当時のヘッドマーク等を再現した列車を運転し、お客様から好評を博しました。

運行開始時のヘッドマークを再現した「リバイバルうずしお号」



●1988年(昭和63年)4月10日	特急「うずしお」運行開始	最高速度が110km/hに。
●1998年(平成10年)3月14日	N2000系気動車での営業運転開始	最高速度が130km/hに。
●2017年(平成29年)12月2日	2600系気動車での営業運転開始	
●2019年(令和元年)8月6日	2700系気動車での営業運転開始	

特急「うずしお」として活躍した主な歴代車両をご紹介!



キハ185系

1986年にデビューした、国鉄時代の特急車両としては初めてのステンレスで作られた車両です。最高速度は110km/hで高松駅～徳島駅間の高速化に寄与しました。2023年現在でも一部の「うずしお」として活躍中です。

1987年には、「鉄道友の会」が定める優秀な車両に送られる賞、「ローレル賞」を受賞しました。



N2000系

1995年にデビューした車両で、制御付自然振り方式を採用しており、カーブにあわせて車体が傾きます。最高速度は130km/hでより早く高松駅～徳島駅間を移動できるようになりました。

2020年7月には「うずしお」としての運行を終え、2600系・2700系に引き継ぎました。現在は主に予讃線で活躍中です。



2600系

2017年8月に臨時列車として高松～徳島間でデビューし、12月から特急「うずしお」として、本格的に営業運転を開始しました。最高速度は120km/hで、空気バネ式車体傾斜機構を採用しています。

現在、全ての車両が「うずしお」として活躍しています。



2700系

2019年8月に特急「うずしお」としてデビューし、N2000系の後継車両として活躍しています。最高速度は130km/hで、制御付自然振り方式を採用しています。

座席にコンセントを設置したり、バリアフリートイレを導入するなど客室のバージョンアップを行いました。

2020年に、「鉄道友の会」の「ローレル賞」を受賞しました。

4つの観光列車を乗り継ぎ四国を周遊するプレミアムツアー 「観光列車で巡る四福の物語4日間」

JR四国の観光列車4つを乗り継ぎ、四国4県を駆け抜ける「観光列車で巡る四福(しふく)の物語4日間」のツアーをご紹介します。5回目となる今回は、「志国土佐 時代の夜明けのものがたり(貸切運行)」「伊予灘ものがたり」「四国まんなか千年ものがたり」「藍よしのがわトロッコ」に乗車します。JR四国が誇る観光列車と、特別な企画を盛り込んだツアーになっております。「四福の物語」は来年以降も毎年計画しておりますのでぜひご参加ください。

★満員御礼★
本ツアーは現在満席となっており、新規受付を停止しております。ご了承ください。



ツアー概要

- ツアー名:観光列車で巡る四福の物語4日間
- ご出発日:2023年11月16日(木) 3泊4日
- 最少催行人員:18名様
- 添乗員:同行(高知駅〜徳島駅)
- 食事条件:朝3回・昼3回・夕3回
- 旅行代金:大人おひとり様あたり220,000円〜238,000円
※2名様1室をご利用の場合の旅行代金です。

「観光列車で巡る四福の物語4日間」の楽しみ

～特別を楽しむ～

金刀比羅宮「奥書院」特別内覧

「さぬきのこんぴらさん」として親しまれる金刀比羅宮で、通常非公開の「奥書院」を特別にご見学いただけます。

善通寺市「五重塔」特別内覧

国内の木造塔としては3番目の高さを誇る善通寺の「五重塔」。通常非公開の五重塔を僧侶のご案内のもと見学します。

酒蔵プレミアムダイニング

四国は徳島県鳴門市の谷あいの里に佇む「酒蔵 鳴門鯛」(本家松浦酒造)。江戸期より「撫養(むや)街道」沿いの要所として栄え、200年以上を経た今も現役の酒蔵として、この地の恵みを活かした、伝統の日本酒づくりに精進を重ねています。この蔵を貸し切り、一夜限りの酒蔵プレミアムダイニングをご参加の皆様限定でお楽しみいただけます。

～非日常を楽しむ～

JR四国自慢の観光列車でゆったりと四国を周遊します。四国の雄大な自然の数々、温かなおもてなし、普段では味わえないお食事など、非日常空間をご体感いただけます。

～宿を楽しむ～

1日目の宿泊は愛媛県の四国カルストに位置する「星ふるヴィレッジTENJU」。晴れていれば満天に輝く星空は必見です。2日目は香川県琴平町の「琴平グランドホテル桜の抄別邸初音」に宿泊。和モダンで落ち着いた空間を提供する客室と温泉に癒されてください。最後の宿泊は徳島県でも屈指のリゾートホテル「アオアヲナルリゾート」。

【担当者の想い】

四福の物語は当社自慢の観光列車を乗り継ぎ、四国を周遊する高級ツアーです。特別な企画やおもてなしを含め、お客様に満足していただけるツアーの造成に日々取り組んでおりますので、今後も是非期待してください!
(旅行商品担当 西森)

社員が紹介!JR四国のお仕事

本コーナーでは、JR四国の様々な部門で働く社員の仕事の様子や休日の過ごし方をご紹介します!今回は、JR四国の線路の安全を各地で守る縁の下の力持ち!「保線のお仕事」についてです。

今回仕事の様子を
紹介してくれるのは
松山保線区 兎谷 社員



Q.1 線路を守るお仕事ってどんなことをしているの? やりがいはどんなところ?

線路設備の巡回・検査

徒歩や列車添乗による巡回(線路を歩いたり、列車の先頭に乗って異常の有無を確認)に加えて、十数種類の検査を定期的を実施しています。検測機器を使用した検査だけでなく、目視や体感で判断する事柄も多いため、プロフェッショナル意識を持って取り組むことが大切だと感じています。お客様と接する機会はほとんどなく、決して目立つ仕事ではありませんが、縁の下の力持ちとして頑張っています。



工事の施工管理

巡回や検査で異常有りと判断した箇所は工事によって修繕を行います。簡易な修繕はJR社員が行いますが、大規模な工事は外注施工が多いため事前の打合わせや現場での指示、施工後の仕上り状態の確認が大切な仕事です。列車が安全に走行できる線路を維持するのは「当たり前」、お客様を意識した乗り心地の良い線路を維持するのが「一人前」。これからもより良い線路造りに励んでいきます。



Q.2 仕事の中で苦勞したエピソードは?

大雨や台風、地震等で列車の運転を見合わせた場合には運転再開前に線路の点検を行っています。近頃は突発的な線状降水帯の発生など、事前の予測が難しいケースが増えてきたため、気象情報と現場の天候に細心の注意を払いながら線路設備に異常がないかを確認しています。早期運転再開(=早期点検完了)を念頭に置きつつも、安全を最優先に慎重かつ冷静な対応を心掛けています。



Q.3 休日のリフレッシュの仕方は?

2人の息子(4歳と11ヵ月)と遊ぶことがリフレッシュです。とはいえ、どんどん体力がついてきた子供たちの遊びは、体力の衰えを隠し切れない私にとっては修行のようなもの(家の前をひたすらダッシュするだけ等)も多く、心のリフレッシュはできてても体のリフレッシュができていないのが現実です。子供たちに走り負けない体力作りをして、父親としての威厳を保てるようにこれからも精進していきたいと思います。



沿線通学生
寄稿コーナー

第4回



徳島商業高等学校

最寄駅
「徳島駅」

※このコーナーは四国の通学生のみさんに鉄道に親しみをもっといただこうと企画しました。年4回掲載します。



村上 杏樹さん (3年)

私は、高校と同時にJR通学が始まり、初めは乗客が多く緊張し、落ち着かず長くしんどい片道45分の登下校でした。徐々に通学に慣れ、今では45分が短く楽しい時間になっています。外国の人、車いすの人、高齢者、妊婦さん、学生、会社員。JRでは毎日たくさんのお会いがあります。高齢者の方や妊婦さんがしんどそうにしていたら、多くの方が席を譲ろうとする姿、車いすの人がいたらみんな急いでいても通れるように待っている姿。いろんな場面で助け合う姿が見られとても素敵な気持ちにさせられます。私自身小学生の子に席を譲ったことがあり、その時小学生の子が笑顔で「ありがとう」とお礼を言ってくれたことがあります。偉いことをしたわけではないけれど、「ありがとう」と一言でとても嬉しく明るい気持ちになりました。まだまだ私のJR通学は続きますが、たくさんの人との出会いや列車から見る景色を大切にこれからも列車に乗ろうと思います。

私が通っている徳島商業高校は、徳島駅を降りて自転車で約15分の距離にあります。学科では、英語に重点をおき商業科目の専門的な知識・技術の習得を目標とした「ビジネス探究科」と商業科目を専門的に学習し、2年次から自分の興味関心、将来の進路に応じた3つのコースに分かれて勉強する「ビジネス創造科」の二つに分かれて学びます。私が所属している「ビジネス創造科」のアドバンスコースでは、全商検定1級3種目以上取得を目標に日々勉強に取り組んでいます。たくさん専門的スキルが身に付き、将来の選択肢が広がると思います。クラス内では全員で鼓舞しあって、教え合い高め合っています。本校は学業だけでなく部活動も盛んです。卓球、テニス、バドミントン、ソフトボール、野球、サッカー等の運動部、ワープロ部、簿記部、阿波踊り部、吹奏楽部、書道部等の文化部などたくさんの部活動が活躍し、全国大会に出場しています。



また、ビジネス創造科や部活動のビジネス研究部では授業や部活の一環で地域と連携して商品開発をしたり、地域を盛り上げるためにイベントの計画を立て実行したりしています。私たちの学校は地域の方との交流を大切に活動しています。

私たちは、部活動の練習試合や地域イベントへ行く交通手段など様々な場面でJRを利用します。駅によっては1時間に1本しか停まらないところがあったり、乗車する人が多いけど一車両しかなく、ぎゅうぎゅうづめになってしまったりすることがあります。利用者が多い時間は車両を増やしていただけると、より快適に利用できると思うので検討をお願いします。これからもJR通学で安心・安全に登校し、残りの高校生活を全力で楽しみたいと思います。



郡 こころさん (3年)

私が通う徳島商業高校は「美しい着こなし」「美しい振る舞い」を大切にビジネスマナーを学ぶ、「社会」に一番近い学校です。今年で創立114年を迎える徳島唯一の商業高校で令和3年には学科再編が行われ、昨年度より制服のデザインも変わり、昔からの良い伝統を残しつつ新たな伝統を築いております。

学校から離れた地域に住む生徒が半分近くおり、学校の最寄り駅である徳島駅までJRを利用して通っている生徒が多くいます。私は自転車通学ですが、幼い頃から鉄道に親しみを持っています。私の祖父が列車の模型をコレクションしているほど大の鉄道好きで、よく祖父と一緒に駅に列車を見に行ったり、利用したりしていました。高校に入学してからはJR通学する友人の影響もあり、遊びに行く際や気分転換にJRを利用しています。幼い頃見ていた駅員さんのテキパキと働くかっこいい姿は高校生になった今の私から見ても変わっておらず、未だに憧れの存在です。

私は学校の課外活動の一環として地域のの方々や企業さんと協力し合い、商品を考えて販売する「徳商デパート」を経験しました。販売当日、多くのお客様が来て下さり、開店から約1時間半で売完することができました。お客様が笑顔で商品を購入して下さり、笑顔で帰られる姿を見ることができ、とてもやりがいを感じました。この経験で地域の方々とのコミュニケーションの重要さやお客様に喜んでもらえるような商品を考えて販売する大切さを知ることができました。この経験を活かして就職しても多くのお客様に笑顔を与えられる社員として活躍したいと思っています。



徳島商業高等学校 校長

青木 秀雄 先生

校長先生からひと言

本校は、「自主・誠実・健康」を校訓に1909年(明治42年)創立、100年を超える歴史と伝統を有する商業高校です。これまで、徳島県商業教育の中核として、産業と文化の発展を担う人材の育成を目指した教育を実践しており、その精神は今日においても確実に受け継がれています。今年の夏には12年ぶりに硬式野球部が甲子園に出場し、おおいに盛り上がりました。

生徒たちは勉学と部活動の両立を行い、日々精進しながら高度な資格取得を目指すとともに、特色ある学習活動を通して進路の実現を図っております。



JR 四国 阿南駅 営業係

小磯 紅葉 社員

先輩からのメッセージ

2020年度卒の小磯です。私は在学当時、通学はもちろん遊びに行く時も、時間に正確なJRを利用していました。そして社会人となった今、JR四国に入社し阿南駅で勤務しています。主にみどりの窓口できっぷの発売や改札業務を担当しています。真心のこもったサービスの提供に努めるとともに後輩の皆さんが、安心してご利用いただけるよう頑張っています。

徳島商業高等学校



■〒770-0862

徳島県徳島市城東町1丁目4番1号

■生徒数：729名

■設立年度：1909年



JR 四国は国土交通省が主体で全国のJRや私鉄各社が取り組む「鉄道でエコキャンペーン」に参加しています。

発行：四国旅客鉄道株式会社広報室
〒760-8580 高松市浜ノ町8番33号